

国立病院機構宮城病院 地域医療連携室だより

第3号



かっせんはら100

ほんち



宮城病院 基本理念 良い医療を安全に、心を込めて

☆地域医療連携室副室長よりあいさつ☆



この4月に山形病院から赴任してまいりました増田と申します。
宮城病院には平成22年4月から庶務班長として4年間勤務し、今回で2度目の勤務となります。
平成23年に発生した東日本大震災の際にもこの宮城病院に勤務しておりまして、ライフラインが途絶えた中、避難されてきた多くの住民の方と不安な夜を過ごしたことを今でも鮮明に覚えております。
あれから8年が過ぎ、5年ぶりにこの山元町を訪れたとき、復興が進んだ町並みはもちろんのことですが、それ以上に印象を受けたことは生まれ変わった町にいきいきと生活される住民の皆様とこれを支える医療機関の先生方や町の職員の方々の変わらない献身でした。
高齢化とそれを取り巻く医療情勢の厳しさが報じられる中、日常の生活を支える地域医療は、当院が有する数々の専門医療とあわせて当院の大きな機能になります。この宮城病院の一員として、行政機関や医療機関の先生方、介護福祉施設のスタッフの皆様と密に連携をとり、住民の皆様が安心して医療を受け、再び、生き生きとした日常生活に戻ることができますよう、微力ながら一生懸命頑張っていきたいと思っております。
どうぞよろしくお願いいたします。

経営企画室長 増田 和美

職場紹介 宮城病院

放射線科



診療放射線技師 5 名(今年から助手1名入りました)で、一般 X 線撮影、ポータブル撮影、CT、MRI、アイトープ検査、X 線 TV 撮影の業務を主に行っており、24 時間体制で救急診療にも対応しています。

CT 装置は、16 列マルチスライスで、ワークステーションを駆使し診断に役立つ 3D の画像をフィルムレスで提供しております。MRI 検査は 1.5 テスラの装置を使い、即日の検査依頼に対応し、予約待機無しで高品質の画像を提供しております。アイトープ検査は、脳血流スPECT、ダットスキャンでアルツハイマー型認知症、パーキンソン症候群、レビー小体型認知症の診断精度向上に寄与しております。また、

放射線科の 3 本柱である MRI、CT、アイトープ検査は近隣のクリニック様も共同利用することが出来ます。

4 月から MRI 装置が更新されました。GE 社製 SIGNA Artist 1.5T という機種になります。

先生方ご自身の診療施設内の機器と同様に扱っていただけます (^^)

共同利用でつながる

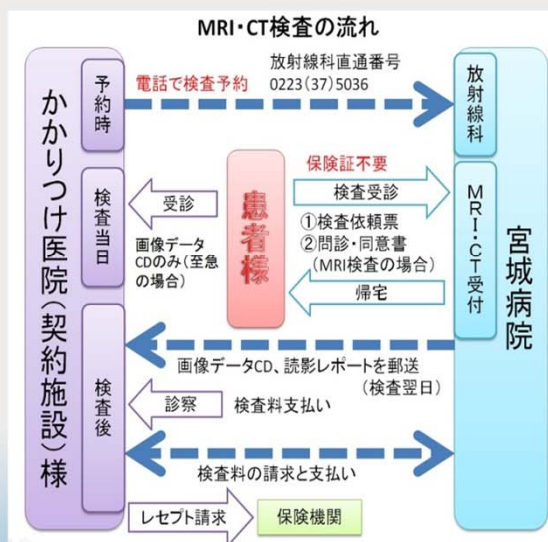
宮城病院 MRI/CT/アイトープ装置共同利用について



GE 社製 SIGNA Artist

当院が保有している医療機器(MRI・CT・アイトープ)を各医療機関の先生方にご利用いただくシステムです。適応患者様がいらっしゃる場合には、是非ご利用ください。

- 本システムにおきましては、当院外来受診は必要ありません。
- 患者様に直接、放射線科においていただき、検査を行います。
- 検査終了後、翌日に読影レポート(ドクターネット遠隔連携)と画像 CD データをご依頼の先生の下へ郵送致します。お急ぎの場合は検査後当日に画像 CD のみ患者様にお渡しすることも可能です。
- 当院での会計は発生せず、当院の報告書をもとに各医療機関様において、会計、レセプト請求していただけます。
- 当院からは、各医療機関様との契約を基にした利用料を請求させていただきます。
- 検査依頼は当院放射線科直通電話で行えます。
- 検査日、検査時間は平日 8 時 30 分～16 時 30 分です。
- MRI・CT どちらも単純検査のみで、造影剤の使用はできません。
- 必ず医院、クリニック様を通し医師の依頼の下ご予約ください。



共同利用システムは事前契約が必要です。詳細等、電話にてお問い合わせください。

平日:8時30分～17時15分 TEL:0223-37-5036(予約直通電話)担当:放射線科 松本(まつもと)

第7回宮城病院公開講座を行いました！

平成31年3月9日(土)、第7回目となる宮城病院公開講座を山下地域交流センター「つばめの杜ひだまりホール」で開催いたしました。当日は天気にも恵まれ、参加者は地域住民の皆さま医療福祉関係者全体で約170名と多くの方々にご参加いただきました。

毎回、宮城病院公開講座では地域の皆さまへ健康増進・予防をテーマに「この地域で生き生きと暮らすために」と題して、今回は「漢方療法とお薬」に関する講演会を開催いたしました。

最初の講演では、当院内科医師、志澤先生より「地域医療と漢方療法」についての講演を行い、漢方治療に関する注意点や効能などスライドを交えながら、わかりやすく説明していただきました。

次の講演では、当院薬剤部水沼副薬剤部長より「上手なお薬の飲み方」について、お薬についての飲み方の疑問や飲み忘れについて、参加者の皆さま方にもわかりやすく説明を行っていただき、盛況に終わることができました。

最後に、この場をお借りして今回講演会開催にあたり山元町保健福祉課の皆さま方には町内広報誌などのご案内をはじめ、会場の事前準備、当日の会場設営等ご協力をいただき、盛況に終わられたこと深く感謝しております。

管理課長 大坂 雄二



地域医療連携室スタッフよりあいさつ

いたばし あやこ
◎医療相談員 板橋 彩子

4月1日付けで岩手病院より異動してまいりました板橋彩子と申します。岩手病院では6年間勤務しました。

今回ご縁があり、宮城病院で勤務させていただくことになりました。宮城病院から地元が近いこともあり、安心していきます。

地域のことを少しずつ覚えていきながら、関係機関の方々や患者さん、患者さん家族に早く顔を覚えていただき、安心して相談してもらえるように努めてまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。

もり まきあ
◎医療相談員 森 真紀亞

はじめまして。昨年12月より連携室に勤務しております。こちらのお勤めは俄かですが、医療相談には20年従事しております。

野球が大好きで、3～10月のシーズン中は野球野球と騒いでおります。野球の魅力は剛速球投手や強打者だけでなく、様々なタイプの選手が活躍できる場所にあると思います。各々が得意分野を活かし、相互に作用しながらゲームを作り上げていくさまは、連携のありようと重なるところがあるかと存じます。患者様の生活を守るために多職種が協同する連携において、ソーシャルワーカーとして精いっぱい務めさせていただきます。

患者様や地域住民の皆様のお力をお借りする場面も多々あると思われれます。どうぞよろしくご協力申し上げます。



研修会のご案内

第6回

国立病院機構 宮城病院

医療と看護・介護多職種連携研修会

令和元年6月26日（水）18：30～19：30

講師

宮城病院 大会議室

1. 特命副院長 安藤肇史
2. WOC認定看護師 栗原幸江

!(^^)! 日常のケアを再確認!

(>_<)毎日のケアの困ったなを解消しよう!

1. 経管栄養・胃ろう・気管切開・処置あれこれ～これってどうするの!?
2. スキンケア起こさないために!

お申込み
お問い合わせ

宮城病院地域医療連携室 高橋・加藤

別紙、申込書にてFax送信をお願いします。

TEL 0223-37-1131 (代)

FAX 0223-37-5055

★今後の予定

- ・10月27日 第7回「知って得するリハビリテーション活用術Part2 脳卒中」
- ・2020年2月 第8回「地域で暮らす人の生活を考える
-事例の振り返りから見えること-

上記で計画中です。皆様どうぞお越しください。
お待ちしております!

よろしくお願
い
します!

●編集後記

今回、編集を担当させていただきました医療相談員の川村です。地域の医療機関、関係者の皆様にはいつも大変お世話になっております。

今年度、「かっせんはら100ばんち」は3回発行予定となっております。皆様に当院について知っていただくために、毎号工夫して参りたいと思います。編集は連携室のスタッフが交代で担当させていただきますので、次号もどうぞご期待ください。

K.K



〔発行・編集〕

独立行政法人国立病院機構宮城病院
地域医療連携室

〒989-2202

亶理郡山元町高瀬字合戦原100番地
TEL (0223)37-1131 (代表)
<http://mnh.go.jp/index.html>